

⚠ ヒューズ管 取扱い注意事項

製品を安全にご使用いただくために、2ページの一般注意事項と292、293ページのヒューズホルダー取扱い注意事項をあわせてお読みください。

ご使用に際しましてご不明な点は、お客様相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

お客様相談窓口 ☎ 0120-70-7215

ご使用上の注意事項

- 国内向け機器に使用するヒューズ管は電気用品安全法により1A以上は適合性検査証明を受けたものを使用しなくてはならないことになっています。
(1A未満及びDC用は適用外です)
- ヒューズ管は普通溶断型、タイムラグ溶断型、速動溶断型と、用途によってそれぞれに分類されます。普通溶断型は通信機器等一般的なもの、タイムラグ溶断型はモーターやサージ電流用、速動溶断型は半導体保護用等に使用用途が分類されます。
弊社のヒューズ管は全て普通溶断型B種です。
それぞれ溶断特性が違いますので、ご使用になる回路負荷によって選択していただく必要があります。

普通溶断型の溶断特性

A種……110%通電時不溶断、135%通電時1時間以内に溶断、200%通電時2分以内に溶断

B種……130%通電時不溶断、160%通電時1時間以内に溶断、200%通電時2分以内に溶断

タイムラグ溶断型

A種……110%通電時不溶断、135%通電時1時間以内に溶断、300%通電時6秒以内に溶断

B種……110%通電時不溶断、135%通電時1時間以内に溶断、300%通電時3秒以内に溶断

速動溶断型

A種……110%通電時不溶断、135%通電時1時間以内に溶断、250%通電時1秒以内に溶断

B種……110%通電時不溶断、135%通電時6分以内に溶断、200%通電時0.5秒以内に溶断

- ヒューズ管を選定される際は、突入やパルス等の電流特性を考慮する必要がありますが、一般的には回路の定常電流の約1.5倍以上をヒューズ管定格電流の目安としてください。
例：回路の定常電流7A、使用ヒューズ管の定格10A
- ヒューズ管の溶断特性は25℃の時のものです。また規格で決められたホルダー内にセットした時のもので、実際にヒューズホルダーに装着した時とでは条件が異なります。温度が高い所では、溶断が速くなる傾向がありますのでご注意ください。
- ご使用の際には実装機器での通電および短絡試験等、作動確認を十分に行った上でご使用ください。
- 屋内でご使用ください。

ご使用、保管環境について

- 各商品は全て屋内使用を目的として設計されております。屋外でのご使用、保管はできません。
- 直射日光の当たる場所、結露や氷結の発生する場所でのご使用、保管は避けてください。
- 振動や、衝撃が加わる環境でのご使用、保管は避けてください。
- 高温、低温、多湿、塵埃等の多い環境や水、各種油、薬品(洗剤含む)、腐食ガス等がかかるような環境でのご使用、保管は避けてください。
- 詳細については、最新の図面、仕様書等ご請求の上、ご確認ください。本内容と個別の図面、仕様とが異なる場合、個別の図面、仕様が優先されます。